

広報いわたき

●発行者●

岩滝まちづくり
協議会

TEL 77-9877

FAX 77-9409

メール

iwataki@hidata

kayama.ne.jp

岩滝全域防災訓練

11月6日(日)午前中

大雨による土砂崩れを想定した岩滝全域の防災訓練を行います。当日は雨が降る中を、各公民館(第1次避難所)への避難です。車を利用しての避難も可。避難所では左下の図のように、役員が担当者としてついでに指示をすることになります。

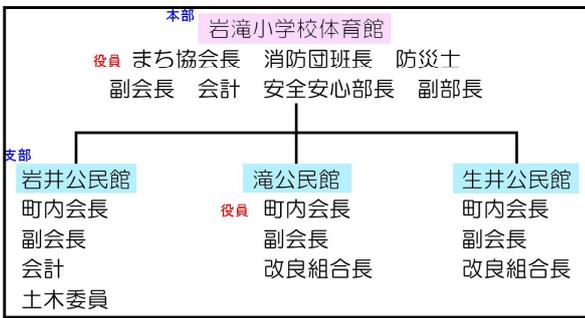
住民の皆様への避難目標は

①避難情報を的確に理解し、避難所へ安全に早い避難ができる。

- ②必要物品(配布した防災ファイル・避難者カード・薬・お薬手帳・その他必要品等)が事前に準備してあり、それを持って避難することができる。
- ③避難所の受付で、家族の氏名・安否・体調など正確に伝えることができる。
- ④避難所では落ち着いて整列して座り、役員の指示に従うことができる。-----です。ご理解ご協力をお願いします。



第5回防災会議のようす



岩滝小避難所を本部とし、各公民館を支部とした役員配置

棚田の復旧進む



5/24



11/2



岩滝小 棚田で昔の脱穀体験

10/14足踏み脱穀機で脱穀し、唐箕(とうみ)で風をあてて選別する昔のやり方を体験しました。



今年の敬老記念品



消毒スプレー

ざぶとん

モバイルバッテリー

長寿会 ふれあいハウスビニール張替え



これでグラウンドゴルフ可

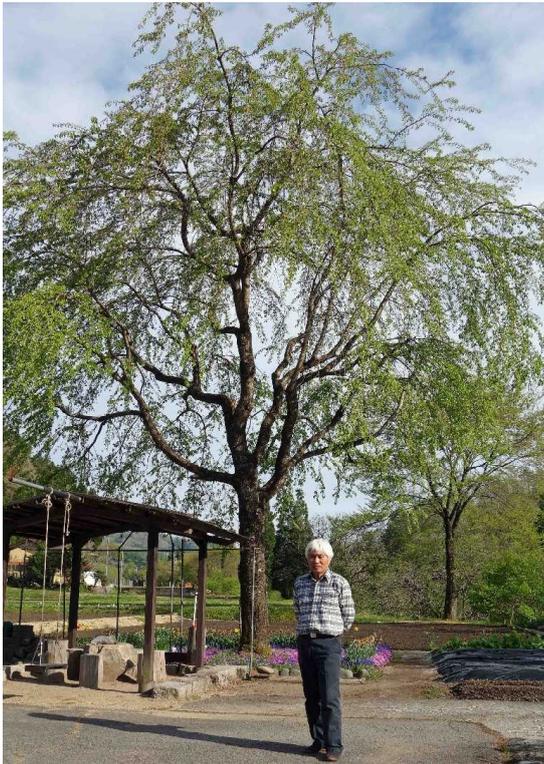
今年度は花街道に
庄川桜を植えます

昨年度大回りの道沿いに植樹したのはソメイヨシノですが、寿命は短く、50年ほどだそうです。そこで、今年は樹齢500年と言われる有名な庄川桜（左写真）を植えたらどうかと思い、庄川まち協に相談したところ、庄川桜の実を拾って発芽させて庄川桜Ⅱ世を育ててみえる道下隆司氏を紹介していただきました。



庄川桜

↓ 実から育ててみえる道下隆司氏



道下氏は庄川桜を全国に知ってもらいたいと、種まきして育てた苗を各地に贈り、長い間普及活動を続けてみえます。どのよう育ててみえるのかその方法を教えて頂きました。まず、7月に庄川桜の下で落ちた実を拾います。実をそのまま播くと発芽率が低いので、実をよく洗って果肉の部分をきれいに取り除いて種だけにし、種が乾かないうちに、下写真のような仕切られた枠に鹿沼土を入れたところに種まきして、砂地に少し埋めて置きます。種を乾かすと発芽率が落ちるので要注意だそうです。



昨年種まきした庄川桜Ⅱ世。2~3cmほどの小さな芽がでていました。

ご自宅のまわりにはたくさんの庄川桜Ⅱ世が植えられており、後ろに見える2本は30年ほど前に実から育てて植樹されたそうです。手前の1本は枝垂れの庄川桜で、種まきすると2~3割の確率で枝垂れのものが出てくるそうです。

ちよつと今、実生から3年経った庄川桜Ⅱ世の苗が100本ほど（左写真）あるということで、20本を岩滝へ分けて下さることになりました。感謝
そして、10月。再び苗の成長を見に道下氏を尋ねました。5月には左写真のように背丈程度だった苗が3m以上になっていてびっくり。これを岩滝まで運べるように掘っておいとくださるので、9日（水）に運んできます。桜苗は岩滝公民館近くに穴を掘って10本ずつまとめて植えておき、3月下旬に希望者を募集して植樹する予定です。



莊川桜の品種

ソメイヨシノは、江戸時代末期の今から200年近く前に、エドヒガンザクラとオオシマザクラがたまたま交配してできた品種で、江戸近郊の染井村が発祥です。ソメイヨシノ同士は交配しても発芽できる種子はできません。

そのため全国のソメイヨシノは、最初に生まれた1本を接ぎ木や挿し木して増やしてきたものです。エドヒガンザクラとオオシマザクラの良いところをあわせ持っており、花見に最適とたくさん植えられていますが、病気に弱く50年ほどの寿命だそうです。

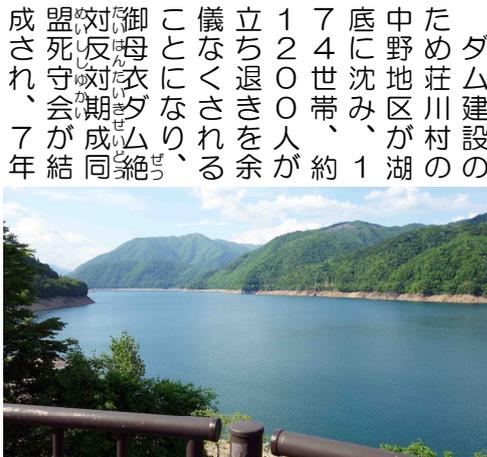
これにたいして莊川桜の品種はエドヒガンザクラで、花は小ぶりのピンクですが、寿命が長く、巨木になります。種子ができて発芽もします。



莊川桜

莊川桜の歴史

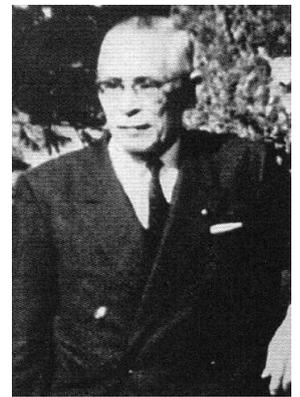
昭和27年、国は終戦後の復興に水力発電を進めようと電源開発促進法を制定して電源開発株式会社を設立しました。その最初の開発計画が莊川村から白川村にかけての御母衣ダム建設でした。



御母衣ダム

ダム建設のため莊川村の中野地区が湖底に沈み、174世帯、約1200人が立ち退きを余儀なくされることになり、御母衣ダム絶対反対同盟が結成され、7年間にわたる反対運動が展開されましたが、電源開発株式会社の初代総裁高碓達之助氏の誠意ある説得により合意し、昭和34年11月には死守会解散式が行われました。

このとき、高碓達之助氏が水没する集落にあった光輪寺境内に桜の巨木を発見し、故郷を離れる人達の心のよりどころとしてダムの上への移植が決定されました。照蓮寺にも桜の巨木があり、2本あわせて昭和35年11月から

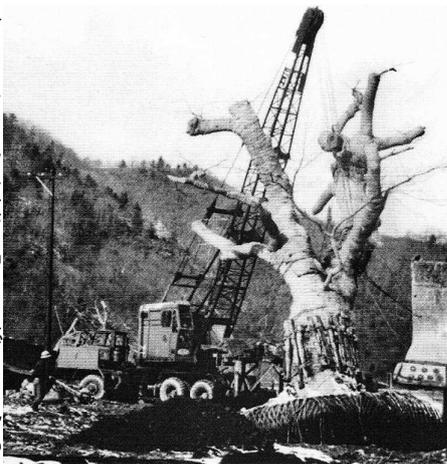


高碓達之助氏

12月にかけて40日間の移植作業で現在の道路沿いの位置まで引き上げられました。

2本の桜はどちらも幹周り6m、重さ40tもあり、根を切って移動するということは絶対無理と思われましたが、クレーン車・ブルドーザー・1000人の手により移植されました。

2本の桜は翌春には少し花が咲き、関係者の皆さんは胸をなでおろしたそうです。昭和37年6月に「莊川桜」と命名されました。



→クレーン車で吊り上げられる桜。枝や根がたくさん切られる。

※ 照蓮寺について

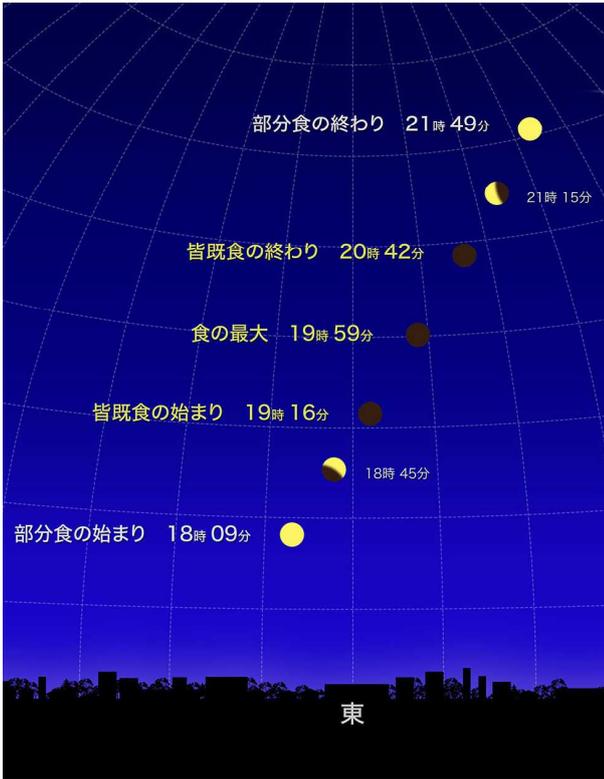
莊川村中野にあった照蓮寺は、昭和36年に解体され高山市内の城山に移築されました。照蓮寺は親鸞聖人の弟子の嘉念坊善俊上人が1253年頃白川村に建立した寺で、初めは「正蓮寺」という名前でした。

ここを中心に飛騨国の浄土真宗は一大勢力として栄え、帰雲城主内ヶ島為氏と対立します。1488年には正蓮寺は焼き討ちされてしまいましたが、第十四世明心のときに内ヶ島為氏と和睦し、1504年に莊川村の中野に「照蓮寺」として再興されました。この当時の本堂が現在も残っているもの（左写真）で、国の重要文化財となっています。



城山へ移築された照蓮寺

莊川はこのほかに長い歴史を感じさせるものがあります。大原騒動で農民を助けた上木甚兵衛と三島勘左衛門の話や、こだいじんの民謡、30頭の連獅子、ひねり踊り、神社の祭りに奉納する村歌舞伎などです。手取層があるため昨年は恐竜の卵化石も話題になりました。



11/8 皆既月食観察会へどうぞ

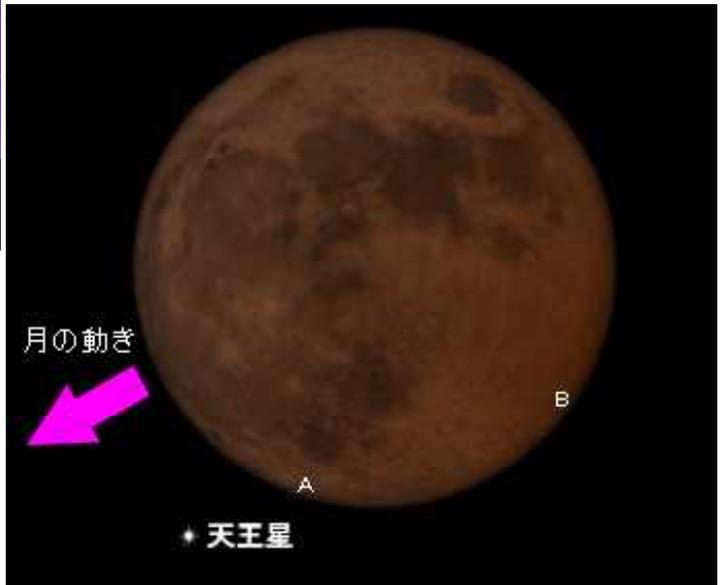
満月が地球の影に入って欠けていく「皆既月食」が11月8日（火）の夜に見られます。

天気がよければ岩滝小学校運動場に望遠鏡を用意しますので、興味のある方はおいでください。

(左図の時間帯を参考に)

当日は珍しい「天王星食」も起こります。下図のようにゆっくり月が左下へ動くため、皆既月食の最中の8時36分に天王星がA地点あたりで月にかくれ、再び9時25分にB地点から現れるものです。

この日の天王星は5.6等星なのでなんとか望遠鏡で見れるのではないかと思います。



←たくさんの写真のご応募をお待ちしています。

参加賞もあります。全作品は岩滝カレンダーに掲載します。

写真の印刷をご希望の方はA4サイズでよければ印刷しますので、デジカメなどで撮ったデータ（SDカードなど）を岩滝公民館までお持ちください。

メールで送ってくださっても結構です。

1枚200円です。

メ切 11月18日（金）

令和4年度 第7回

岩滝

フォトコンテスト

写真を通して、岩滝地域の魅力を再発見することを目的に開催します。昨年度は112点の応募があり、各所で展示して多くの皆様に見ていただきました。今年度も皆様のご応募をお待ちしています。詳細は裏面の要項をご覧ください。

作品募集

テーマ 岩滝地区の四季

メ切 11月18日(金)

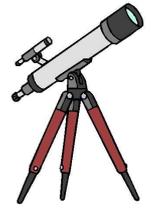
主催 岩滝まちづくり協議会

今後の予定

- 11/ 6（日）岩滝全域防災訓練 午前中
- 11/ 8（火）皆既月食観察会18：00～22：00頃 岩滝小にて（晴れれば）
- 11/18（金）岩滝フォトコンテスト応募メ切
- 11/24（木）第5回星空観察会「木星・火星と秋の星座」18：30～岩滝小にて
- 11/27（日）桶岩しめ縄作り8：00～岩滝公民館前ふれあいハウスにて
- 11/29（火）岩滝フォトコンテスト審査会9：00～岩滝公民館にて
- 11/30（水） // 審査結果の公表と応募者へ通知
- 12/10（土） // 作品展示9：00～12：00岩滝公民館にて
- 12/10（土） // 表彰式13：30～岩滝公民館にて
- 12/11（日）～18（日）エブリ東山店にて岩滝フォトコンテスト作品展示

11/8 皆既月食データ

部分食の始まり	6時 9分	}	皆既食の時間 86分間 (本影に入っている時間)
皆既食の始まり	7時16分		
↓			
皆既食の最大	7時59分		
↓			
皆既食の終わり	8時42分		
部分食の終わり	9時49分		



※部分食の始まる6時9分は、月の高度が 16.4° であるため、岩滝小では東の樹木がじゃまになるかもしれません。岩井団地ならよく見えるはずですよ。

※皆既食の間86分間は月が暗くなるので、土星・木星・火星・その他星座を観察するには良い時間帯になると思います。望遠鏡でいろいろ見てみましょう。

11/8 天王星食データ (岩滝小 E 137.21.5 N 36.7.55 海拔 761m で)

食の始まり (月の裏に隠れる)	8時35分42秒
食の終わり (月の裏から現れる)	9時24分50秒

※月の皆既食の最中に起こるといって珍しい。次回は322年後だそうです。

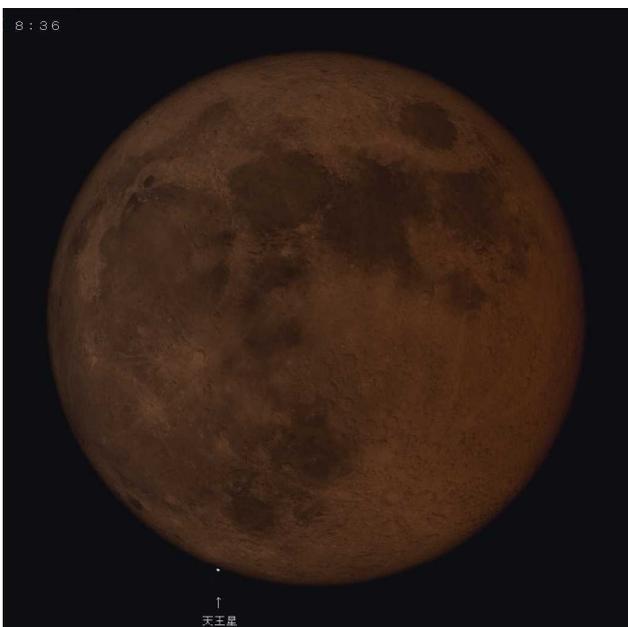
※天王星は水色をしているので大きな望遠鏡なら月の赤銅色との対比が美しいでしょう。

※8:20頃から天王星と月の距離に注目して望遠鏡で観察を続ければ、月と天王星が接近していくのがよくわかると思います。

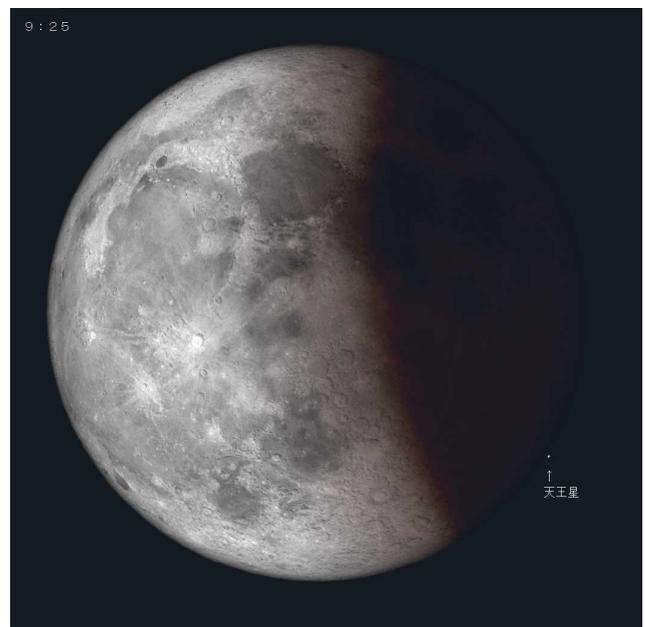
晴れますように



8:20



8:36



9:25